

太 陽

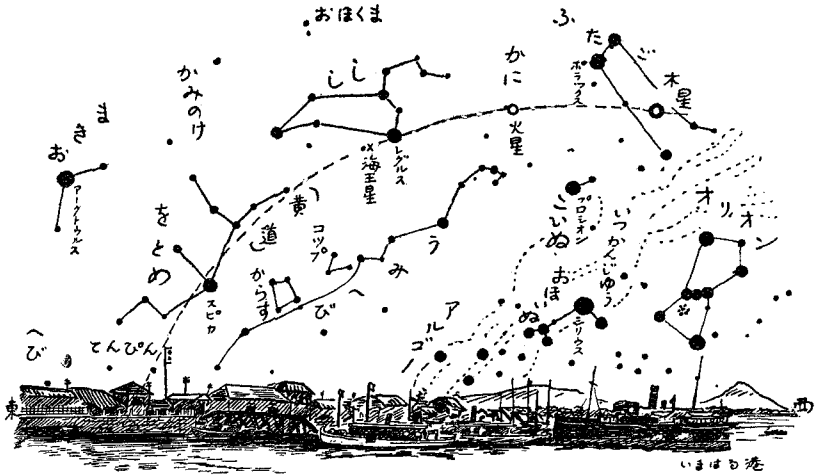
日	赤 經	赤 緯	視直徑	星 座
1	0時38分30秒	北 4度 8分	32分 4秒	う を
11	1時14分51秒	北 7度55分	31分59秒	う を
21	1時51分50秒	北11度30分	31分53秒	ひ つじ
(1)	2時29分31秒	北14度45分	31分49秒	ひ つじ

月始めは白羊宮に在るが、二十一日から金牛宮に侵入する。日出は月始めに 5時45分、月末に 5時7分。日没は月始めに6時17分、月末6時41分。十八日に**部分日食**があるが、朝鮮及樺太の北半を除いた我が國本土からは見られない。此の日食は先づ、18日午前 7時57分24秒に、中華民國 雲南省から始まり、ビルマ、暹羅、印度支那の北部を かすめ、民國全土、朝鮮、滿洲、西比利亞を経て、北極を過ぎ、グリーンランドの北端近くで、午前 11時32分18秒に終る。食甚は9時45分、食分は5分。

月

月の相	時 刻	視直徑	星 座
満 月	3日午前 5時 5分	33分19秒	をとめ
下 弦	10日午前 5時15分	30分13秒	い て
新 月	18日午前10時 0分	29分49秒	う を
上 弦	25日午後10時40分	31分55秒	か に
近地点通過	2日午前 7時 6分	33分41秒	をとめ
遠地点通過	14日午後 5時36分	29分27秒	みづがめ
近地点通過	30日午後 0時30分	32分58秒	をとめ
降交点通過	3日午前 8時42分	33分15秒	をとめ
昇交点通過	17日午前 8時54分	29分39秒	う を
降交点通過	30日午後 6時48分	32分57秒	をとめ

皆既月食。3日午前 3時23分12秒に缺け始め、4時22分18秒に皆既となり、食甚は5時7分24秒。復光5時52分36秒、復圓6時51分42秒であるが、5時50分頃には月は没して了ふので、大抵の所では、皆既のまゝで月没となり、復光は見られない。



遊 星 界

水 星 宵の星。月始め「う」座東端より順行して、「ひつじ」座中央に至り、20日留となりてより、徐々に逆行する。30日太陽と内合。観望には上旬がよく、殊に10日は東方最大離角19度となるので、此の時はよく見える。10日の視直径は7秒半。光度正0.4等。望遠鏡で見ると五日月位の形である。19日午後4時に月の北側半度以内に並ぶ。

金 星 曉の明星として負3.5等の光度で輝きつつ、「みづがめ」西端より「う」座の中央近くまで順行する。視直径は月始め15秒餘りであるが、月末には13秒足らずになる且つ月末になる程太陽に近くなつて見難くなるから、観測には月始である程よい。14日夜半月が南側1度以内の所を通る。

火 星 宵の南天にありて「かに」の中央を順行する。光度は正0.4等から正0.9等に減ずる。視直径は9秒より7秒あまりになる、望遠鏡で見ると、月始めは満月形に近いが、次第に壊けて行く。

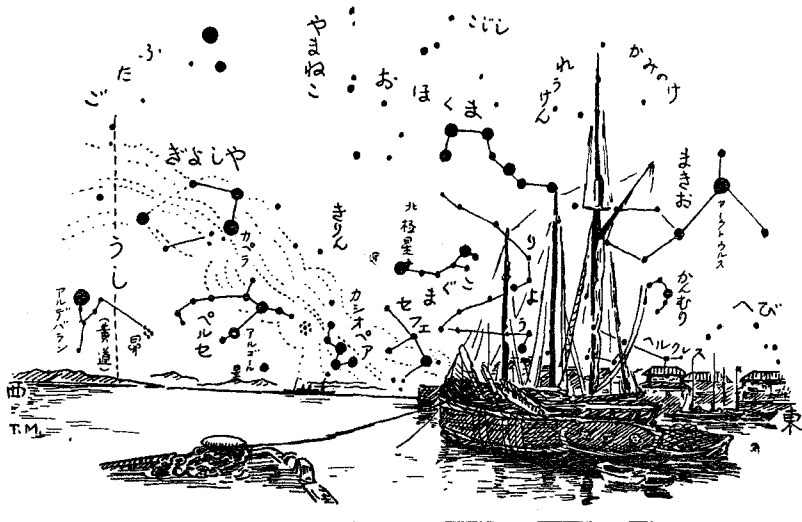
木 星 日没前に南中。「ふたご」の中央にありて、光度負2等、視直径35秒。

土 星 午前一時頃東天に登る。「いて」の中央より稍東よりの所を順行する。視直径は15秒程。光度は正0.8等。今後ますます観望には都合よくなる。

天王星 太陽に近く、観望に適せぬ。

海王星 宵に南中。「しし」座ロ星に近い。視直径3秒、光度7.7等

冥王星 「ふたご」座デ星に近い。光度15等。



恒星界

銀河は西の空に、影淡はくなりて、

誇らしき冬の星座も、大部分は既に没し去つた。

少々寂漠を感じる空の景色になつたとは云へ、

春の星座の代表たる、「ふたご」、「しし」、「おとめ」、等は、

今や、南天に居ならびて、それらの主星「カストル」を始めとし、

「レグルス」、「スピカ」等に、人気者の木星まで加はりて、

赤黄白と、色とりどりの巨星等は、

黄道に沿ふて、優美に輝やく。

天頂近くには、「おほくま」座が廣がりて、

彼の北斗七星は、心得顔に北極星を指し示してゐる。

「まきを」は「かりいぬ」を追ひたてながら、又た、

「へび」は「へびつかひ」に先立ちながら、東から現はれて来る。

今や、南北を貫ぬく子午線上には、「セフェ」や「こぐま」、

「おほくま」、「しし」、「ヒドラ」や「アルゴ」等が居並びて、

西に「オリオン」や「おほいぬ」を見送ると同時に、

東の「ヘルクレス」、「こと」等、夏の星座を出迎へてゐる。